

平成 26 年度実施施策に係る事前分析表

(文部科学省 26-9-2)

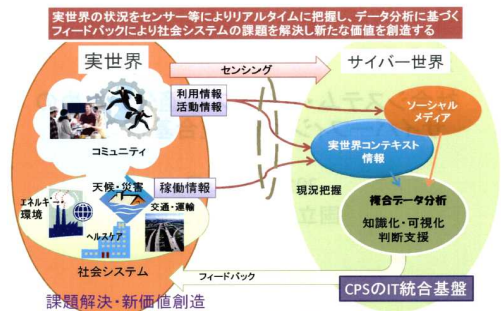
施策名	情報通信分野の研究開発の重点的推進
施策の概要	「第 4 期科学技術基本計画」や「日本再興戦略」等の政府の方針に沿って、文部科学省では、以下の二つを大きな柱として、情報通信分野における研究開発を推進する。 (1) 情報通信システムの低消費電力化など、社会的課題解決のための革新的技術の開発 (2) ビッグデータを利活用する技術の開発及び、中核的なビッグデータ利活用人材の育成

達成目標 1	情報通信システムの低消費電力化など、社会的課題解決のための革新的技術が開発される。						
成果指標 (アウトカム)	基準値	実績値					目標値
	一年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	28 年度
①成果の活用状況	-	-	-	-	活用事例 (論文発表 32 件、特許 出願 5 件、 学会発表 124 件、シ ンポジウム 開催 3 回)	活用事例 (論文発表 72 件、特許 出願 18 件、 学会発表 257 件、シ ンポジウム 開催 5 回)	研究開発の 成果のイノ ベーション 創出の貢献
年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	-
活動指標 (アウトプット)	基準値	実績値					目標値
	一年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	28 年度
②「社会システム・サービスの最適化のための IT 統合システムの構築」の進捗状況 (当該プロジェクトの各年度の業務計画書との比較) (平成 24 年度から平成 28 年度まで実施予定)	-	-	-	-	事業計画通り進捗 IT 統合システム構築に向け、除雪 GPS ログデータの実時間取得システムの構築、大規模商業施設におけるエネルギーモデル構築のための基盤データ収集及び分析	事業計画通り進捗 IT 統合システム構築に向け、除雪 GPS ログデータの実時間取得システムの構築、大規模商業施設におけるエネルギーモデル構築のための基盤データ収集及び分析	高効率化・省エネルギーや安全・安心の確保をはじめとした様々な課題達成に資するシステムとしての、課題達成型 IT 統合システムを構築するための基盤技術の確立。
年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	-
③「イノベーション創出を支える情報基盤強化のための新技術開発」の進捗状況 (当該プロジェクトの各年度の業務計画書との比較) (平成 24 年度から平成 28 年度まで実施予定)	-	-	-	-	事業計画通り進捗 ・スピントロニクス材料・デバイス基盤技術の開発に向け、データ取得、測定システムの環境準備、素子設計、シミュレー	事業計画通り進捗 ・スピントロニクス材料・デバイス基盤技術の開発に向け、高機能化 (高速動作・耐災害) に向けた環境整備、20nm 以下	科学技術基盤としてのイノベーションを支える情報基盤について、耐災害性強化、データ処理能力の向上、低消費電力化を進めるため、最適な

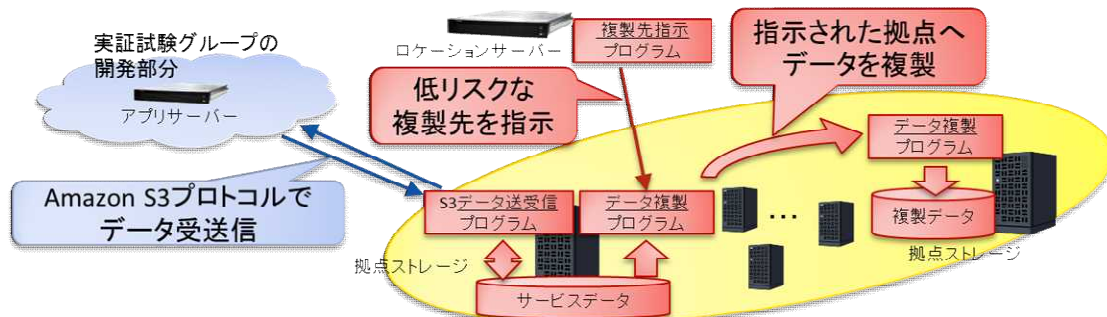
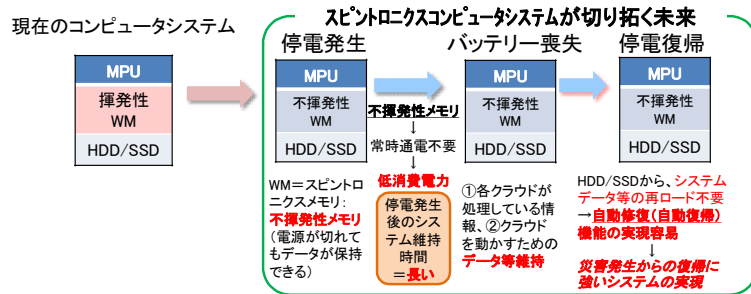
					ションの実施 ・高可用性システムの原理設計、高速データ転送の記録理論構築、データ複製基盤システムの設計、実証実験の仕様設計	の素子加工プロセスの確立、 ・HDDのデータ転送速度の高速化、シミュレーション環境下における高可用性の検証、投薬情報システムの開発	システム構成やデバイス等について研究開発を行い、課題達成に貢献する機能の強化に貢献する新技術の確立。
年度ごとの目標値		-	-	-	-	-	

「社会システム・サービスの最適化のためのIT統合システムの構築」

社会システムの最適化とサイバー・フィジカルシステム (CPS)

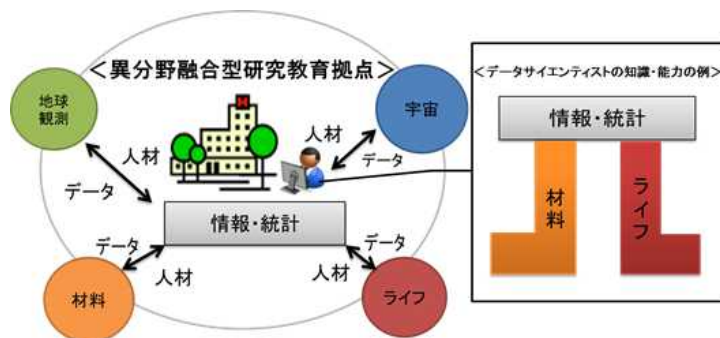


「イノベーション創出を支える情報基盤強化のための新技術開発」



開発したリスクアウェア複製機能を組み込んだストレージシステムの構成図

達成目標 2	ビッグデータを利活用する技術が開発されるとともに、中核的なビッグデータ利活用人材が育成される。						
成果指標 (アウトカム)	基準値	実績値					目標値
	一年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	一年度
①成果の活用状況	—	—	—	—	—	活用事例 (論文発表 8件、学会 発表18件、 シンポジウ ム開催3 回)	研究開発の 成果のイノ ベーション 創出の貢献
年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	—	—
活動指標 (アウトプット)	基準値	実績値					目標値
	一年度	—	—	—	—	25年度	29年度
② ビッグデータ利活 用のための研究開発 (平成26年度から平成 29年度まで実施予 定)	—	—	—	—	—	—	異分野の膨 大なデータ から意味あ る情報をリ アルタイム かつ自動的 に抽出・処 理するシス テムの産学 官連携によ る研究開発 及び試行シ ステムの構 築とデモン ストレーシ ョンの実 施。
年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	—	—
	基準値	実績値					目標値
	一年度	—	—	—	—	25年度	27年度
③ ビッグデータ利活 用によるイノベーシ ョン人材育成ネット ワークの形成 (平成25年度から平成 27年度まで実施予 定)	—	—	—	—	—	事業計画通 り進捗 ・ワークシ ョップの実 施、人材の ローテーシ ョンの実 施、ベスト プラクティ ス調査の実 施 ・講義及び 演習教材の 開発、Web サイト開設 等による広 報活動	情報・統計 分野の幅広 い知識を身 に付け、ビ ッグデータ を有する 様々な分野 の現場で学 んだ中核的 なビッグデ ータ利活用 人材の育成 手法の確立 及び人材育 成ネットワ ークの形 成。
年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	—	—



達成手段 (事業・税制措置・諸会議等)							
(単位：百万円)							
名称 (開始年度)	予算額計 (執行額)		当初 予算額	事業概要	関連 する 指標	行政事業 レビュー シート番号	担当課
	24年度	25年度	26年度				
未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発 (平成19年度) (平成25年度までの名称は「次世代IT基盤構築のための研究開発」)	1,066 (1,024)	507 (507)	549	世界最高水準のIT利活用社会の実現を目指し、ビッグデータ利活用のための研究開発と人材育成、情報システムを支える革新的技術開発・実用化を重点的に実施し、安全かつ豊かで質の高い生活の実現、新たな知の創造や新産業・新サービスの創出に貢献する。	達成 目標 1・2	0245	研究振興 局参事官 (情報担 当) 付

(参考) 関連する独立行政法人の事業

事業名 (開始年度)	予算額計 (執行額)		当初 予算額	事業概要	関連 する 指標	行政事業 レビュー シート番号	担当課
	24年度	25年度	26年度				
—	—	—	—	—	—	—	—

施策の予算額・執行額 (※政策評価調書に記載する予算額)					
区分		24年度	25年度	26年度	27年度要求額
予算の状況 (千円) 上段：単独施策に係る予算 下段：複数施策に係る予算	当初予算	1,066,576 ほか復興庁一括 計上分0	507,345 ほか復興庁一括 計上分0	548,520 ほか復興庁一括 計上分0	1,084,292 ほか復興庁一括 計上分0
		<100,758,042> ほか復興庁一括 計上分 <4,383,269>	<123,049,734> ほか復興庁一括 計上分 <3,353,753>	<119,940,047> ほか復興庁一括 計上分 <2,298,767>	<123,032,756> ほか復興庁一括 計上分 <761,897>
	補正予算	1,714,213 ほか復興庁一括 計上分0	100,000 ほか復興庁一括 計上分0	0	
		<59,896,812> ほか復興庁一括 計上分<0>	<81,905> ほか復興庁一括 計上分<0>	<0>	
	繰越し等	Δ1,714,400 ほか復興庁一括 計上分0	1,614,400 ほか復興庁一括 計上分0		
		<Δ423,627> ほか復興庁一括 計上分<0>	<Δ81,905> ほか復興庁一括 計上分<0>		
	合計	1,066,389 ほか復興庁一括 計上分0	2,221,745 ほか復興庁一括 計上分0		
		<160,231,227> ほか復興庁一括 計上分 <4,383,269>	<123,049,734> ほか復興庁一括 計上分 <3,353,753>		
	執行額 (千円)	1,023,792 ほか復興庁一括 計上分0	2,219,103 ほか復興庁一括 計上分0		

	<160,211,030> ほか復興庁一括 計上分 <4,383,269>	<123,028,072> ほか復興庁一括 計上分 <3,353,753>		
--	--	--	--	--

施策に関する内閣の重要政策（施政方針演説等のうち主なもの）		
名称	年月日	関係部分抜粋
日本再興戦略	平成 25 年 6 月 14 日	第Ⅱ．三つのアクションプラン 一．日本産業再興プラン 4．世界最高水準の IT 社会の実現 ③IT を利用した安全・便利な生活環境実現 P44 二．戦略市場創造プラン テーマ 2：クリーン・経済的なエネルギー需給の実現 ②競争を通じてエネルギーの効率的な流通が実現する社会 P73
世界最先端 IT 国家創造宣言	平成 25 年 6 月 14 日	Ⅲ．目指すべき社会・姿を実現するための取組 1．革新的な新産業・新サービスの創出と全産業の成長を促進する社会の実現 (1) オープンデータ・ビッグデータの活用の推進 (2) ビッグデータ利活用による新事業・新サービス創出の促進 P7
科学技術イノベーション総合戦略	平成 25 年 6 月 7 日	第 2 章 科学技術イノベーションが取り組むべき課題 I．クリーンで経済的なエネルギーシステムの実現 3．重点的取組 (4) 革新的デバイスの開発による効率的エネルギー利用 P15 Ⅲ．世界に先駆けた次世代インフラの整備 2．重点的に取り組むべき課題 (4) 次世代インフラ基盤の構築 P27
第 4 期科学技術基本計画	平成 23 年 8 月 19 日	Ⅲ．我が国が直面する重要課題への対応 2．重要課題達成のための施策の推進 (2) 我が国の産業競争力の強化 i) 産業競争力の強化に向けた共通基盤の強化 P.23 ii) 我が国の強みを生かした新たな産業基盤の創出 P.24 Ⅳ．基礎研究及び人材育成の強化 4．国際水準の研究環境及び基盤の形成 (3) 研究情報基盤の整備 P.39
新たな情報通信技術戦略	平成 22 年 5 月 11 日	Ⅲ．分野別戦略 3．新市場の創出と国際展開 (1) 環境技術と情報通信技術の融合による低炭素社会の実現 P.10 (2) 我が国が強みを持つ情報通信技術関連の研究開発等の推進 P.11

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	
<ul style="list-style-type: none"> ・「次世代 IT 基盤構築のための研究開発」業務委託研究成果報告書 ・「次世代 IT 基盤構築のための研究開発」自己点検結果報告書 	

評価実施予定時期	平成 28 年度・平成 29 年度
----------	-------------------

主管課（課長名）	研究振興局 参事官（情報担当）（鈴木 敏之）
関係課（課長名）	—